

社会科ブックトーク No.1 「歴史上の人物って、本当はどんな人だろう？」

社会科ブックトークの1冊目は「ざんねんな偉人伝（真山知幸・著）」です。歴史の学習をしていて、「こんなに人名を覚えて何になるのだろう？もう嫌だ！」と思うことはありませんか。確かに名前をただ羅列的にたくさん覚えるという作業は苦痛です。

しかし、教科書に出てくるような歴史上の人物ははっきり言ってただ者ではありません。立派なこともしている半面、「これは残念だ！」という一面も必ずもっています。

「研究に没頭しすぎて、ズボンをはき忘れて外出したニュートン」
「走れメロスを書いたのに、自分は借金のかたに友人を置き去りにする太宰治」

「年を取るにつれて服装がだらしなくなり

「汚れ熊」と言われたベートーベン」

「掃除ができず、散らかるたびに93回引っ越しをした葛飾北斎」

など驚きの事実がいっぱいです。

ハチャメチャな生き方をまねすることはお勧めしませんが、人一倍人間くさい彼らが大きな夢を実現したことを知ってください。そして、歴史がより身近になり、「自分だって何か成し遂げられるかも！」と思ってくれると幸いです。

